

共通論題

「南北問題の再発見—反グローバリズムからの問いかけ—」

2003

経済社会学会編
現代書館発売

■大会実行委員長挨拶

宇佐美義尚…… 3

■第38回全国大会共通論題（シンポジウム）「南北問題の再発見—反グローバリズムからの問いかけ—」

リゾーム型社会实践としてのアタック運動	杉村 昌昭…… 5
反グローバリゼーションとその思想的意味——杉村報告へのコメント——	角田 史幸…… 6
開発援助の現代的論点—被援助国の「政策の規律」から「統治の規律」へ—	新井 敬夫…… 9
開発援助の現代的論点——新井報告へのコメント——	菊島 啓…… 18
南アジアにおける新南北問題発生とその背景について	保坂 俊司…… 21
「南アジアにおける新南北問題発生メカニズムとその理解のために—宗教と社会科学の融合モデルの試論を」何って——保坂報告へのコメント——	前川 輝光…… 22

■準共通論題（指定セッション）論文

持続可能な開発と人口問題——南北問題の地平——	楠本 修…… 25
-------------------------	-----------

■準共通論題（指定セッション）要旨

グローバリズムと生きる価値——あなたは近代を超えられるか？——	大場 裕之…… 40
南北問題におけるコミュニティの定位	西尾 雄志…… 42

■自由論題論文

ネットワークとキャリア形成——若年ホワイトカラーの検討を通じて——	石田 光規…… 45
相続税制度と相続観との整合性を問う——配偶者の取り扱いを中心として——	小野塚久枝…… 54
ジンメルと近代的自由	清家 竜介…… 65
消費社会化と“健康”の社会的定義の変化	藤岡 真之…… 77
ハイエクと方法的個人主義	森田 雅憲…… 86

■自由論題要旨

高齢者の終末介護期における生命倫理問題——自己決定のあり方——	伊東真理子…… 96
商店街活性化の課題	井原 久光…… 98
福祉国家発展のマクロデータ分析——時系列データの利用——	織田 輝哉……101
環境保護と持続的農業——英 Essex 大学「環境と社会センター」の SAFE-World プロジェクトから学ぶ——	上沼 正明……104
選挙運動規制と市民意識	佐野 正晴……106
ヘーゲルにおける有機体概念、その認識と倫理	野尻 英一……108
中小企業およびベンチャー企業の国際比較	松本 和幸……110
NPOとしての労働組合	村上 求……112
徳川時代における儒学・士道思想の変遷——その社会哲学的考察——	森田 健司……114
障害者福祉を主軸とした地域ネットワークへの視座——精神障害者の地域生活支援システムの構築——	梁田 英磨……116

■ポスターセッション

グローバル社会と政治倫理——R. ニーバーと H. キュングを主体に——	坂本 進……119
グローバリゼーションとリスク管理——グローバル社会からの排除とアフリカの対応——	鈴木 亨尚……122
Clower=Leijonhufvud: 利子と貸付資金説——Wicksell connection との関係——	日隈 信夫……123

編集後記

実質的に今号から編集にたずさわるようになりました。書評関連の推薦、校正編集を担当し、夏休み中の出版社での作業に関わりましたが、作業量の割に少人数で編集しているという印象を持ちました。学会賞の創設などにより、年報の持つ役割もますます大きくなっていくと思われませんが、そのための体制の充実も求められるところでしょう。(T.O.)

全国大会(準共通論題、自由論題)の報告者で年報に論文を執筆した人を対象に、今年から「高田保馬賞」が授与されることになりました。これにより年報も、今後ますますレベルの高い論文の掲載が期待されます。折しもこの年報の編集作業中(8月末)に板垣典一先生の訃報に接し、研究歴などをつづられた自叙伝とも言える著書『アジアとの対話』(全5冊)をいただいたことを思い出しました。真摯な学究生活を通して幅広く活躍され、本学会の発展にも尽力された先生に、謹んで哀悼の意をささげます。(M.O.)

経済社会学会 年報編集委員会

恩田守雄(委員長)／大西秀典／織田輝哉／島本美智男／竹下公視

経済社会学会年報 XXV 「南北問題の再発見——反グローバリズムからの問いかけ——」

2003年9月20日 初版第1刷発行

編 者 経済社会学会
〒657-0013 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学経済学部気付
電話(078)803-6854

編集者代表 恩 田 守 雄
発 行 者 橋 本 昭 一

発売所 株式会社 現代書館
〒102-0072 東京都千代田区船田橋3-2-5
電話(03)3221-1321 FAX(03)3262-5906
振替 00120-3-83725
e-mail: g-shokan@webjapan.ne.jp

写 植 太 平 社
印刷・製本 平 河 工 業 社

ISBN4-7684-7082-3 ISSN 918-3116

自由投稿論文

グローバリゼーションと生活賃金運動	今枝 俊哉……125
近代的認識と技術——技術を反省する視点を求めて——	宇野 正昭……135
ジェンダーとディスアビリティの身体論的考察	斎藤理恵子……144
アマルティア・センの自由主義規範理論	堀 巖雄……152
ポードリヤールによる古典的マルクス主義の理論的補完——記号論的消費社会論を中心に——	水原 俊博……160
英国の教育行政改革と学校の組織変革——改革の組織間学習における Public Private Partnership の役割——	若林 直樹……173

書評

大村茂雄・岩下正弘編『情報と経済活動』	角村 正博……181
カリニコス著、角田・田中・梁田訳『アゲインスト・ポストモダニズム』	田村 正勝……184
内山隆夫著『オーストリアの経済社会と政策形成』	丸谷 冷史……187
アルトゥール・ウッツ著、島本美智男訳『経済社会の倫理』	山田 秀……189

高田保馬賞

田村 正勝……192

■全国大会プログラム……… 193

■学会会則／役員選出規定／年報編集規程／年報執筆要項……… 195

■年報掲載確認書……… 198

■編集後記……… 199